

2026 年第 3 回 ABAC（バンコク）会議【仮訳】

2026 年 7 月 9 日

バンコク、タイ

**ABAC はアジア太平洋地域の成長を強化するために
「Openness（開放性）」「Connectivity（連結性）」「Synergy（相乗効果）」
を提言**

APEC ビジネス諮問委員会（ABAC：APEC Business Advisory Council）は、今週バンコクで会議を開催し、「2026 年 APEC 首脳への提言書」を取りまとめた。本提言書は、変化し続ける域内の経済的課題に対処するためのビジネス界からの提言を集約したものである。提言書では、世界的に不確実性が高まるなか、開放性を促進し、域内の連結性を強化し、官民連携を深めることが、APEC がグローバルなリーダーシップを発揮する好機となり得ることに焦点が当てられている。

2026 年 ABAC 議長のリー・ファンロン氏は、地域の持続的な繁栄は、各国・地域が協力して、開かれた予測可能な貿易・投資環境を保全しつつ、人工知能（AI：Artificial Intelligence）、デジタル経済、エネルギー・トランジションがもたらす機会をいかに活用するかにかかっていると述べた。

同議長は「われわれの地域の長期的繁栄は、各国・地域が協力して、貿易・投資のための開かれた予測可能な環境を維持しつつ、AI やその他の最先端技術がもたらす機会を活用することにかかっている」と述べた。

ABAC は「**Openness（開放性）**」「**Connectivity（連結性）**」「**Synergy（相乗効果）**」という本年のテーマのもと、APEC に対し、自由で開かれた、公正で差別のない、透明性が高く予測可能な貿易・投資へのコミットメントを再確認するとともに、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP：Free Trade Area of the Asia-Pacific）の実現に向けた、実務的かつビジネス主導の早期成果の実現を前進させるよう提言する。その一環として、ABAC は提言の中で、食料貿易に影響を与える非関税障壁（Non-Tariff Barriers）への対処、一貫性のあるデジタル貿易ルール、および女性の経済参加とリーダーシップを促進するための措置（ABAC の自主的な「同一賃金枠組み（Equal Pay Framework）」の採用を含む）に新たに焦点を当てる。

「Connectivity（連結性）」に関しては、ABAC は、災害に強い低炭素型の交通インフラへの投資拡大、サプライチェーンの強靱性強化、ペーパーレス貿易のための組織横断的な APEC

中核拠点（ACCEPT：APEC Centre of Excellence for Paperless Trade）を通じたペーパーレス貿易の普遍的実現に向けた能力構築、物流の改善、航空分野における「オープンスカイ（航空自由化）」アジェンダの刷新、地域サプライチェーン全体の透明性向上、および人的交流の拡大を提言する。

「今日の連結性は、単なるインフラ構築の枠を超えている。それは企業と地域社会が共に繁栄できるよう、強靱なサプライチェーン、信頼性の高いデジタルシステム、熟練した労働力、そしてより強固な人的つながりを構築することである」とリー議長は付け加えた。

政府と企業の連携を強化するため、ABAC は、インフラ、エネルギー、医療、水資源の安全保障、および気候変動に対する強靱性を支援する革新的な官民パートナーシップ（PPP：Public-Private Partnerships）を通じて、より多くの民間資本を動員することを提言する。

また、ABAC は AI や量子技術などの最先端技術の責任ある開発と導入を支援する、イノベーションに寄り添ったガバナンスの枠組みを提言するとともに、開発途上国や中小零細企業（MSMEs：Micro-, Small, Medium Enterprises）がデジタル経済に十分に参加するために必要なデジタルインフラ、スキル、資金へのアクセスを確保することを提言する。

リー議長はさらに次のように述べた。「AI や量子技術は、地域全体の生産性、競争力、そして持続可能な開発を一変させる可能性を秘めている。しかし、その変革の恩恵は広く共有されなければならない。」

ABAC の提言書は、食料安全保障、エネルギー安全保障、人々の健康増進、パンデミックへの備え、災害に対する強靱性、そして持続可能で責任と競争力のある鉱業開発について、より強力な地域協力を提案する。これは、こうした相互に関連した課題に対処するには、より緊密な官民連携が必要であることを認識したうえでの提言である。

リー議長は、これらの優先課題を具体的な成果につなげるため、APEC 参加国・地域と緊密に連携していくという ABAC のコミットメントを再確認した。

同議長は「『Openness（開放性）』『Connectivity（連結性）』『Synergy（相乗効果）』を推進することで、APEC は、不確実性が高まる世界経済に対する信頼を強化すると同時に、アジア太平洋地域全体の企業や地域社会に具体的な利益をもたらすことができる。ABAC は、これらの優先課題を具体的な行動へと変換できるよう、APEC 参加国・地域と連携していく用意がある」と結論付けた。

タイの**アヌティン・チャーンウィーラクン首相**は、バンコクを訪れた ABAC 委員を歓迎し、APEC を通じた地域経済協力の強化に対するタイの支持を改めて表明するとともに、このプロセスにおけるビジネス界の役割の重要性を強調した。

今回の会期中に ABAC は、秋にかけて開催される各 APEC 分野別担当大臣会合に先立ち、デジタル・AI、中小企業、エネルギー、食料安全保障、交通、財務を担当する大臣会合議長宛の書簡を取りまとめた。また、量子（ABAC Statement on Quantum^[1]）、保健、鉱業に関する声明も同様に承認された。

次回は今年最後の会議として中国・深センにて ABAC 会議を開催する予定である。

以上

^[1]（英文） <https://www2.abaonline.org/content/download/22643086>

<2026 年第 3 回 ABAC（バンコク）会議の様子>



ABAC 委員とアヌティン首相（前列中央）の集合写真【写真提供元：ABAC 国際事務局】



開会の挨拶をするタイのアヌティン首相



2026 年 ABAC 議長
リー・ファンロン氏

【写真提供元：ABAC 国際事務局】



オープニング・プレナリーの様子

【写真提供元：ABAC 国際事務局】



オープニング・プレナリーに出席する日本委員・代理委員

（左から、池田委員、引間代理委員〔池田委員の後ろ〕、古澤委員、高橋代理委員）



ABAC 日本の要請により発表するゲストスピーカー：富士通 津田宏 エグゼクティブアドバイザー（左）、量子技術による新産業創出協議会（Q-STAR） 岡田俊輔 実行委員会委員長（右）